

学習内容報告書 フォーマット

学校名	日南市立南郷中学校
授業者	齋藤 秀一

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

港の町南郷を知る活動（ブランド魚「美々鮭」を学ぶ・調理実習）

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- ・ 港の町南郷の特産品であるブランド魚「美々鮭」を題材にして、地域の基幹産業である漁業についての理解を深めるとともに、「美々鮭」のブランド化に取り組んだ人たちの思いや努力を知る学習。
- ・ 「美々鮭」の調理体験を通して、食の大切さや地域の食に関する伝統を学ぶ学習。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

漁業が盛んな地域に生まれた育った生徒が多いが、地域の産業や産業に携わる人たちの生活を知る機会は少なく、知識に乏しい生徒が多い。地域の基幹産業である漁業の歴史や現在の置かれている現状を知る活動を通して、地域の良さを知ると共に、漁業や海に携わる仕事や生活により関心をもつ機会にすることをねらいとしている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 様々な情報から大切な地域を学び取る力を高め、その学んだ知識を様々な媒体を通して整理し、表現する力を育成する。
- ・ 地域に生きる人たちの生き方から学び、自分のこれからの進路や生き方について積極的に考えようとする態度と姿勢を育成する。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	港の町南郷を知る活動 ブランド魚「美々鮭」を学ぶ（5 / 2 1） ①講師紹介（3名来校）&あいさつ ②「美々鮭」のブランド化の取組についての講話→プレゼン&DVD視聴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に朝の会等で、講師の方へのあいさつ、話を聞く態度などについて指導を行った。</li> <li>・ しっかりとした態度で講師の話を聞くことができた。</li> </ul>

<p>1</p>	<p>③講話を聞いて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「美々鰺」のブランド化について、疑問に思ったことなど、質問をする。</li> </ul> <p>④お礼のこトば</p>  <p>【「美々鰺」に関する講話の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクターでの説明（プレゼン・DVD）を実施。</li> <li>・ DVDによる動画で漁の様子や市場での活動の様子を分かりやすく説明した。</li> <li>・ プレゼンによってブランド化への流れや現在の取組の様子を分かりやすく説明した。</li> <li>・ ブランド魚である「美々鰺」の名前を耳にしたことはあるものの、どのような基準や取組があるのかを初めて知り、更に疑問に思うことなどを質問することができた。</li> </ul>
<p>2</p>	<p>港の町南郷を知る活動 目井津港で水揚げされる魚について&amp;ブランド魚「美々鰺」のさばき体験（5/28）</p> <p>①あいさつ・講師紹介 ②鰺の三枚おろしの手順について</p>  <p>【三枚おろしの手順説明中の様子】</p> <p>③鰺の三枚おろし体験（1組） 目井津港で水揚げされる魚について（2組）</p> <p>④鰺のにぎり、塩焼きの実食（1組） 鰺の三枚おろし体験（2組）</p> <p>⑤目井津港で水揚げされる魚について（1組） 鰺のにぎり、塩焼きの実食（2組）</p> <p>⑥片付け ⑦講師講評 ⑧お礼のあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に帰りの会等で、準備物や体験の注意点について指導を行った。</li> <li>・ 「美々鰺」のブランド化に関する講話をした講師が再度来校し、鰺の三枚おろしについて ZOOM を使って二つの教室に同時配信しながら説明した。（講師→地元の漁業従事者）</li> <li>・ 1年生2クラスを調理室と被服室に分けて活動を行った。</li> <li>・ 調理室では三枚おろし体験を実施し、被服室では目井津港で水揚げされる魚の講話と鰺を使った料理の実食を行った。</li> <li>・ 1時間ごとにクラスを入れ替えて活動を行った。</li> <li>・ 初めての体験に戸惑う生徒もいたが、調理ボランティアの方の補助を受け、班ごとに協力しながら、魚さばき体験を行うことができた。</li> <li>・ 様々な方の協力の下、体験が実施できることを実感し、感謝の気持ちを持ちながら、お礼のあいさつや片付け等の全ての活動を行った。</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ


単元 3 時間中の 2, 3 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・ 南郷のブランド魚である「美々鰯」に関する知識と関心を高め、食を通して地域を知ろうとする主体的な態度を養う。
- ・ 体験を通して、生徒同士や教師、地域の人との触れ合いを深め、望ましい人間関係を醸成し、感動や協調性、成就感、忍耐力など豊かな心を育む。
- ・ 体験を通して、ふるさと南郷の自然のすばらしさを体感させ、よりよい環境やふるさとをつくっていかうとする態度や意識を高める。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 講師から鰯の三枚おろしの手順についての説明を聞き、注意点などを確認する。 →真剣な態度で話を聞き、注意点と手順の確認を行うことができた。</p> <p>1年1組</p> <p>2 鰯の三枚おろし体験を行う。 →不慣れな様子も見られたが、鰯の三枚おろし体験に一人一人が取り組んだ。</p>  <p style="text-align: center;">【鰯の三枚おろし体験の様子】</p> <p>3 調理したものを実食する。 →三枚におろしたものを元に、鰯のにぎり塩焼きをつくり、班ごとに協力して食した。</p> <p>4 目井津港で水揚げされる魚について講話を聞く。 →実際に水揚げされた魚を観察しながら、初めて知る情報をまとめていった。</p>	<p>・ 事前に注意をうながしながら、講師の話と一緒に聞き、内容を生徒共に確認した。</p> <p>・ 二つの教室に分かれて説明を聞くため、ZOOMの準備をし、同時配信のための準備を行った。</p> <p>・ 講師の話をしっかりと聞くことができたか。 (観察)</p> <p>・ 班に1人ずつの地域ボランティアの方と共に生徒の活動を見守った。</p> <p>・ 積極的に三枚おろし体験に取り組めたか。 (観察)</p> <p>・ 班ごとに調理したものを一人一人が同じように食することができるように配慮した。</p> <p>・ 調理したものを味わって食することができたか。 (観察)</p> <p>・ 目井津港で水揚げされる魚についての講話を聞き、理解を深めることができたか。 (ワークシート・観察)</p>

1年2組

※1組と入れ替わる形で、4→2→3の順番で活動。



【鯡のにぎり・塩焼きの実食の様子】

5 片付けを行い、お礼のあいさつをする。

→片付けの方法をしっかりと確認しながら、班のメンバーで協力しながら片付けを行った。

→代表生徒がお礼のことばを述べ、全員で感謝の気持ちを伝えることができた。

- ・ 手順を守り、責任をもって片付けができるように指導する。
- ・ 自分たちの班で使用した場所やものを中心に、責任をもって片付けをすることができたか。(観察)
- ・ 講師の方や地域ボランティアの方に感謝のことばをしっかりと伝えることができたか。(観察)

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・ コロナ禍の中、活動の実施が心配されたが、地域の漁業関係者や地域コーディネーターと地域ボランティアの方々の協力を得て、計画的に実施することができたことが一番の評価できることである。
- ・ 南郷のブランド魚「美々鯡」の名前を聞いたことはあっても、そのブランド化にどのような努力や活動があったのかを知る生徒は少なく、多くの生徒にとって、地域の自然の恵みの豊かさと素晴らしさを実感する貴重な機会になった。
- ・ 「美々鯡」に関する様々な学習と体験を通して、地域の良さを大切に、更に発展させていこうと活動している方々の思いや生き方に触れ、感謝の気持ちをもつと共に、自分の生き方や将来の目標について考えることができる機会になった。

### 4. 今後の課題

- ・ 南郷のブランド魚「美々鯡」には、漁獲シーズンがあるため、そのシーズンに合わせて学習ができるように調整していく必要がある。「美々鯡」だけの体験で終わってしまわないように、貴重な体験で感じたことを更に広げたり、深めたりすることができるように事後指導や、それ以外の学習につなげていく工夫が重要である。魚そのものや生魚を苦手にする生徒も少なくはないので、苦手意識を上手く調節しながら体験することができる工夫が必要になる。また、生魚を扱うため、衛生面には十二分な配慮と注意が必要である。地域の活性化の役割を担う「美々鯡」やその他の活動に、生徒たちが何かできることはないのか主体的に考えられる学習を構成していくことができれば、更に充実した取組になると考えられる。

## 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。